

秦野市議会議員
やひろ伸二



議会だより

連絡先：
〒259-1392 秦野市堀山下1番地
Tel. 0463-88-2777 (後援会事務所)
ホームページ: <https://www.shinjiyahiro.com>

令和5年9月秦野市議会第3回定例会月会議報告



令和5年9月秦野市議会第3回定例会月会議が、9月19日～10月17日の日程で開催され、令和4年度の決算審査を含む市長提出議案19件、報告3件、陳情6件を審議・議決しました。主な内容は以下の通りです。

1. 令和4年度決算を認定

令和4年度一般会計での歳入歳出決算では、前年度に比べ歳入は経済活性化の正常化等に伴い、市税が3,580万円(2.4%)増となった一方で、令和3年度に国が投じた緊急経済対策、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金(△20億9,101万円)や新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(△4億2,424万円)等、限定した国庫支出金が全体で27億5,810万円(17.4%)の減となりました。歳出では、令和3年12月から開始した中学校給食の通年化や小中学校の給食費徴収業務に公会計制度を導入したことに加え、カルチャーパーク等の4施設を指定管理者制度に移行したこと等により、12億1,570万円(15.1%)の増となりました。なお、プライマリーバランスについては平成28年度以来の黒字とし、財政調整基金に約43億5,000万円を確保できたことを評価し私は賛成し、審査の結果は**賛成多数**で認定されました。なお、決算額の総計は下記の通りです。

＜令和4年度決算額の総額と前年度伸率(単位：千円)＞

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	58,011,426	55,031,902	2,979,523
特別会計	32,906,424	32,380,009	526,415
国民健康保険事業	16,637,780	16,521,643	116,136
介護保険事業	13,559,845	13,286,551	273,294
後期高齢者医療事業	2,708,799	2,571,814	136,985
合計	90,917,850	87,411,912	3,505,938
前年度合計	93,162,833	89,022,239	4,140,594
対前年度伸	△2.4%	△1.8%	△15.3%

2. 児童ホーム対象年齢を6年生まで拡大

これまで秦野市立末広児童ホームで検証していた公立児童ホームでの対象年齢拡大の結果が出され、



従来4年生までとなっていた対象年齢を令和6年4月より6年生まで拡大する議案が提案され**賛成全員**で可決しました。

私も2020年に市民から市へ対象年齢拡大の要望書提出をサポートした経緯もあり賛成しました。

3. ほりかわ幼稚園舎を無償譲渡



＜秦野市立ほりかわ幼稚園＞

令和7年4月から、市立ほりかわ幼稚園が公私連携幼保連携型認定こども園に移行されることに伴い、こども園の運営に役立てることを目的に、建物を将来設立される社会福祉法人に無償譲渡する提案がなされ**賛成多数**で可決しました。なお、無償譲渡される建物の詳細は下記の通りです。

対象	詳細
譲渡先	社会福祉法人 PEKO SMILE 設立準備委員会
園舎	鉄筋コンクリート造 2階建て (床面積:950㎡, 建築年:昭和57年)
倉庫	コンクリートブロック造 (床面積:22㎡, 建築年:昭和57年)

4. 市道 菩提横野線ほかを認定

新東名高速道路の開通に伴う車両通行量の緩和と市街地や産業利用促進ゾーンへのアクセスの利便性向上のため、秦野丹沢スマートIC入口から工業団地入口



＜市道27号線の計画図＞

交差点を結ぶ市道27号線ほか、宅地開発に伴う道路の寄付24路線が提案され**賛成多数**で可決しました。



＜市道27号線の終点となる交差点＞

また、新東名高速道路の開通により廃止1路線、変更5路線も提案され可決しました。

令和5年9月第3回定例会会議 一般質問内容 やひろ伸二



超少子高齢化時代の到来により、地方自治体は生産年齢人口の確保を目的に『都市間競争』を繰り広げています。私は、改選後となる今定例会会議において、選挙戦でも焦点となった「子育て支援」ならびに「賑わいを通じた関係人口」、「ふるさと納税」について行政の考えを伺うため質問しました。主な内容は下記の通りです。

都市間競争について

(1) 子育て支援

質問

(1) 都市間競争の激化は、インターネットの普及により各自治体のサービスを簡単に比較することができるようになったからだとされている。

代表される明石市の子育て支援策

①子ども医療費の無償化(高校3年生まで)	⑥公立幼稚園での給食実施
②第2子以降の保育料の完全無償化	⑦子ども食堂
③0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」	⑧小学1年生・中学1年生での少人数学級
④中学校の給食無料	⑨病児保育施設
⑤公共施設の入場料無料化	

現在、子育て支援策の充実により転入超過が続く明石市の取り組み状況について、本市として、どのように感じているのか。

- (2) 本市の子育て支援の位置づけは何か。
- (3) 市民の幸福度アップとして今後は、どの程度の子育て支援を予定しているのか。

回答

- (1) 少子化が進み、より一層の子育て支援が求められ、その取り組みが都市間競争となっていることは認識している。本市は地域性や子育て世代のニーズ等を把握し、その効果等を分析した上で子育て世代が抱える不安や困りごとの解消につながる取り組みを実施し、安心して子育てができる環境づくりを推進する必要があると考えている。
- (2) 本市では、子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子どもを産み、育てることのできる環境をつくることで誰もが住みやすい街となり、人口の増加にも繋がるものと考えている。
- (3) 既に実施している内容、①出産後の個別訪問、②未就学医療費無償化、③小学生医療費無償化、④中学生医療費無償化、⑤遊び場・交流の場の常設、⑥母親の孤立対策、に加え来年度は11月に開設予定の産科有床診療所において、⑦宿泊型産後ケアについて、現在、事業者と調整を進めている。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

県西部でも比較的人気の高い厚木市や平塚市でもインパクトのある子育て支援策を打出している。子育て支援は本来、国で実施することだということは私も理解しているが、国の施策が動くまで、近隣で足並みを揃えられないと負け組となる。リカバリーができないほど負け組とならないことを願います。

(2) 賑わいを通じた関係人口

質問

- (1) 本市にとっての賑わいとは、どのような意味があるのか。
- (2) 丹沢日和フェスティバルが秦野駅で開催されていたが、行政としての関わり方について、従来との違いは何か。
- (3) 賑わいは、市内外の人々が面白そうだから顔を出してみようかなと思うきっかけづくりだと考えるが、今後どのようなきっかけづくりをしていくのか。



<丹沢日和フェスティバル模擬店>

回答

- (1) 現在「4駅周辺のにぎわい創造」に取り組んでおり、4つの駅毎に期待する「賑わい」の在り方も異なる。それぞれが目指す賑わいはどんなものなのか意見交換を始め、ビジョンづくりや特徴に応じて、どこからアプローチしていくか、それぞれ懇話会等で議論を進めている。
- (2) 街づくりに関するイベントは従来、市(行政)が中心となり関係団体が協力をするという形が多い中、民間主導として官民が連携して進める街づくりの新たな展開だと考えている。
- (3) 住んでいる人が望み、地域の魅力を再発見できる場所であることが大切であり、そこに形成されたコミュニティでの取り組みが活発に盛り上がっていくよう小さな変化を積み重ね、掲げたビジョンへ繋がるよう進めていきたい。



<民間企業によるゲーム体験>

◆◆ 意見・要望 ◆◆

奈良市では、ある高速の餅つきの動画が、インバウンドにより外国人の話題となり殺到している。このお店のように、急激に賑わいに繋がる場合もあるので、平行して市民の声を聞きながらコツコツと積み重ね、文化形成することも進めて欲しい。